

まふとち通信

(まふ (MAFF)) は、農林水産省の英語表記「Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries」の略称です

本誌のご案内



- ディスカバー農山漁村の宝 (第12回選定) に選定されました！
大谷グリーン・ツーリズム推進協議会
- 「みえるらべる」をCM・ラジオCMで発信しています
- 最新号を発行しました。「百花繚乱 ～栃木県内の農業関係高校を紹介します～」
- 統計情報 令和6年農業産出額 (栃木県)
～ 農業産出額は3,448億円で、前年に比べ16.5%増加 ～
- 農産物の環境負荷低減の取組の「見える化」に取り組みませんか？

ディスカバー農山漁村の宝 (第12回選定) に選定されました！ 大谷グリーン・ツーリズム推進協議会

農林水産省及び内閣官房は、「ディスカバー農山漁村の宝」として、自立した「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現に向け、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことによる地域の活性化や所得向上に取り組んでいる優良事例を選定し、全国へ発信するとともに、普遍化を図る取組を実施しています。

取組概要

【日本遺産のまちで
農業・観光・大谷石体験】

【概要】

・大谷石採掘の文化が日本遺産に認定されたが、観光資源に限られることや、採石業の縮小により地域活性化が課題。そこで、石産業と観光の大谷エリアに、農業が盛んな城山エリアの地域資源を活かし、「他にない絶景と農村体験」を提供するグリーン・ツーリズム活動を開始。

・農業・里山体験や、“洞窟X”探検ツアーの貴重なオリジナル体験に加え、石産業の歴史やSDGsの視点を学ぶ「教育旅行プログラム」を構築し、地域の子供達から全国の教育旅行の受入れまで幅広く体験プログラムを用意。

【成果】

・猛暑・渇水・獣害など農村課題を伝えながらの農業体験や、竹の資源活用となる竹切り体験、食品ロスを学ぶ流しそうめん・郷土食づくりなど、1日5時間の自然体験プログラムを年間10日間実施 (約350名が参加)

・非公開の石切場跡“洞窟X”を安全確認の上で管理し、団体予約による探検ツアーを実施 (年間約100名)。教育旅行では地域ガイドを育成して、オリジナルの提案型で受入れ。人数や時間、英語対応など希望に合わせながら、当団体ならではの提案で、大谷石の歴史、里山保全、SDGs教育を実践 (ハワイの学生や中学生 (320名・バス9台) を受入れ)。



選定地区による交流会 (鈴木農林水産大臣とともに記念撮影)



竹切体験で流しそうめん



当時のままの石切場跡を探検

* 大谷グリーン・ツーリズム推進協議会HP
<https://oya-gt.jp/>



「みえるらべる」をCM・ラジオCMで発信しています ～テレビやラジオで「みえるらべる」絶賛PR中～

栃木県拠点では、皆様に農林水産行政の施策や関連情報を分かりやすくお伝えするため、ホームページや情報誌、SNS、メディア出演など、さまざまな手段を活用した広報活動を行っています。

今回、真岡市のケーブルテレビ「いちごチャンネル」での放映用に「みえるらべる」のCMを作成しました。3月23日から1分間のCMが番組の合間に1日10回程度放送されています。

また、宇都宮市中心部の大型ビジョンでも1時間に1回程度、定期的に放映されているほか、FMもおかでも音声版のCMが放送されています。

(FMもおか：87.4MHz)

3月12日にはCRT栃木放送のラジオ番組「Fine Morning～マリコとLaLaLa～」に、若手職員2名が生出演しました。

放送では、農林水産省が進める「みどりの食料システム戦略」について、取組の背景や目的、地域での実践事例を交えながら説明するとともに、職員自らが発信しているYouTubeチャンネル「BUZZ MAFF」を紹介し、農政をより身近に感じていただけるよう情報発信を行いました。

今回の出演にとどまらず、4月30日(木)にもCRT栃木放送「Fine Morning～マリコとLaLaLa～」への再出演が決定しています。(11:05～11:25)

(宇都宮FM 94.1MHz 足利FM 91.1MHz 葛生・今市・塩原FM93.4MHz)

このように分かりやすく親しみやすい広報を行っていますので、ぜひご視聴ください。

「みえるらべる」CMは農水省の公式YouTube「maffchannel」でも公開中。⇒



※「みえるらべる」については本紙4面をご参照ください。

最新号を発行しました。

「百花繚乱 ～栃木県内の農業関係高校を紹介します～」

栃木県内の農業関係高校の生徒が次世代の農業の担い手として、地域と連携した実践的な学習により、個々の進路実現に果敢にチャレンジしている農業関係高校等の活動を紹介しています。

栃木県内には、農業に関する学科を設置している宇都宮白楊高校、鹿沼南高校、小山北桜高校、栃木農業高校、真岡北陵高校、那須拓陽高校、矢板高校の7校があり、それぞれの専門性を活かした特色ある学びが行われています。さらに、水産科に加えて、普通科の選択科目で「農業」を学べる馬頭高校の取組も紹介しています。

また、高校だけでなく、栃木県農業大学校、栃木県林業大学校、宇都宮大学農学部、帝京大学宇都宮キャンパスなど、農業や森林、食と地域を支える幅広い学びの場が県内にはそろっています。

本誌を通じて農業関係高校等の取組への理解が深まるとともに、一人でも多くの若者が意欲を持って農業を学び、新規就農への契機となれば幸いです。

百花繚乱2026及び過去の百花繚乱は、二次元コードからご覧ください。

https://www.maff.go.jp/kanto/chiikinet/tochigi/tochigi_hyakaryouran.html



統計情報 令和6年農業産出額（栃木県）

～ 農業産出額は3,448億円で、前年に比べ16.5%増加 ～

○栃木県は、前年に引き続き、令和6年農業産出額が全国第9位（3,448億円）。
 ○年次推移を見ると、米、特に畜産が増えたため、昭和59年までは増加に推移した。
 ○近年では、平成26年を底に上昇傾向となり、令和6年に米の大幅増から過去最高値となった。
 ○部門別構成割合は、昭和35年に比べ、米が大幅に低下し、畜産、野菜、果実、花きが上昇。

図1 農業産出額(実額)の推移(栃木県)

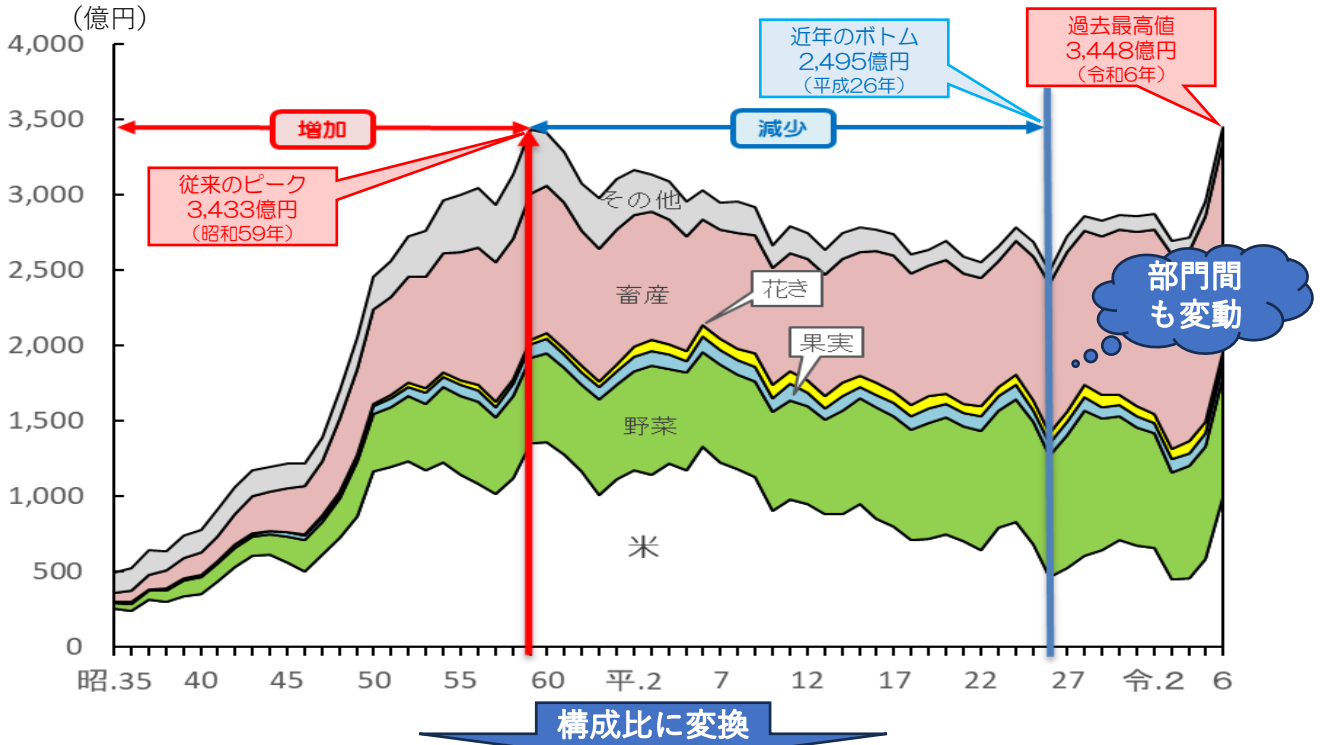
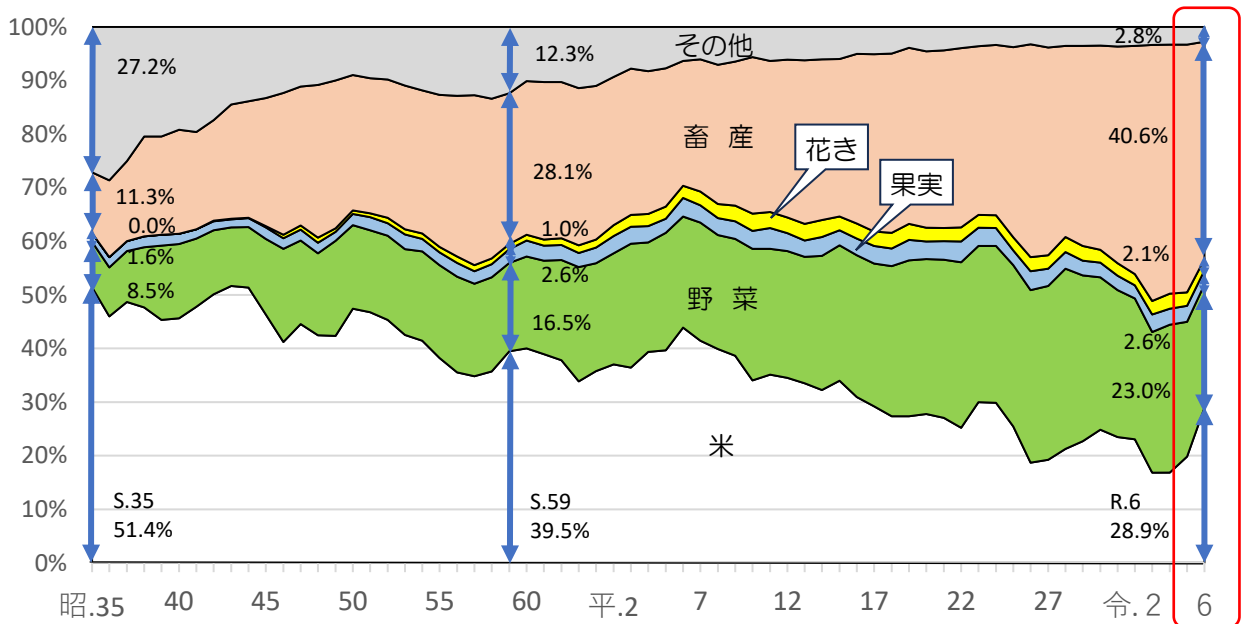


図2 農業産出額(部門別構成比)の推移(栃木県)



注1：その他には、麦類、雑穀、豆類、いも類、工芸農作物、その他作物及び加工農産物を含む。
 2：養蚕は、累年比較のため、畜産に含む。

資料：農林水産省「令和6年農業産出額及び生産農業所得（関東農政局管内）」
 「都道府県別生産農業所得統計累年統計」

※詳細は、以下のURL又は二次元コードからご覧ください。



令和6年農業産出額及び生産農業所得(関東農政局管内)

https://www.maff.go.jp/kanto/to_jyo/kohyo/2025kekka.html#R07PR06

生産農業所得統計長期累年統計表一覧

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/nougyou_sansyutu/tyouki/index.html



農産物の環境負荷低減の取組の「見える化」に取り組みませんか？

「みえるらべる」（農産物の環境負荷低減の取組の見える化）とは、農業者の皆さんが栽培の際に実施している温室効果ガス削減への貢献度や生物多様性保全に配慮した取組を星の数で示し、簡単な手続きで消費者に伝えることができるものです。

温室効果ガス削減への貢献

栽培情報を用い、生産時の温室効果ガス排出量を試算し、地域の慣行栽培と比較した削減貢献度を算定。

$$100\% - \frac{\text{対象生産者の栽培方法での排出量(品目別)}}{\text{地域の標準的栽培方法での排出量(品目別)}} = \text{削減貢献率(\%)}$$

排出(農業、肥料、燃料等) - 吸収(バイオ炭等)

★ : 削減貢献率5%以上
★★ : " 10%以上
★★★ : " 20%以上



※生物多様性保全の評価は、米に限ります。

生物多様性保全への配慮

<取組一覧> ※米に限る

化学農薬・化学肥料の不使用	2点
化学農薬・化学肥料の低減(5割以上10割未満)	1点
冬期湛水	1点
中干し延期または中止	1点
江の設置等	1点
魚類の保護	1点
畦畔管理	1点

★ : 取組の得点1点
★★ : " 2点
★★★ : " 3点以上

対象品目：

	露地栽培のみ対象	施設栽培のみ対象	露地栽培も施設栽培も対象
穀物	米		
野菜	ほうれんそう、白ねぎ、たまねぎ、はくさい、キャベツ、レタス、だいこん、にんじん、アスパラガス	ミニトマト、いちご	きゅうり、なす、トマト、ピーマン
果実	りんご、日本なし、もも		温州みかん、ぶどう
いも	ばれいしょ、かんしょ		
その他	茶		

「みえるらべる」取得の流れ

算定シート入手

栽培データ等の入力

農林水産省への報告

ラベル表示

まずはホームページからお申し込みください。

お手持ちの生産記録で簡単に算定。

算定結果を報告。登録番号付与。

商品やチラシなどに表示。

詳しくは農林水産省ホームページをご覧ください。

https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyos/seisaku/being_sustainable/mieruka/mieruka.html



● 栃木県拠点では見える化に取り組みたい生産者の方への説明を行っております。問い合わせ先：028-633-3313

情報コーナー

(1) 【お米に関する情報】 米に関するマンスリーレポート

農林水産省は、米に関する価格動向や需給動向に関するデータを集約・整理した「米に関するマンスリーレポート」を公表しています。ぜひご活用ください。

◆ 詳しくは、こちらをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/mr.html>



(2) 【補助事業参加者の公募】

農林水産省が参加者を募集している補助事業等を紹介します。

◆ 詳しくは、こちらをご覧ください。

<http://www.maff.go.jp/j/supply/hozyo/index.html#no>



(3) 【輸出に取り組む皆様へ】 お役立ち資料集

関東農政局では、農林水産物・食品の輸出拡大に向けて、関係資料等を作成しました。

特に、これから輸出の初めの一步を踏み出す農業者及び食品製造事業者の皆様の参考となるようまとめましたので、是非、ご活用いただければと思います。

◆ 詳しくは、こちらをご覧ください。

https://www.maff.go.jp/kanto/keiei/zygyo/yusyutu_sokushin/kanto_gfp_export_doc.html



お問い合わせ先：農林水産省関東農政局栃木県拠点（栃木支局）地方参事官室

〒320-0806 栃木県宇都宮市中央2-1-16

TEL：028-633-3311（代表） Mail：tochigi_sanjikansitu@maff.go.jp

ホームページ：<http://www.maff.go.jp/kanto/chiikinet/tochigi/index.html>

